

市民参画の取組について

なおえつ うみまちアートに対する市民の主体的な関わりを、直江津地域をはじめ市全体に広げるため、作品制作等への取組に対して、地域で活動する市民団体や事業所、個人などから参画を募る。

1. 市民団体等との連携について

- (1) 目的: なおえつ うみまちアートとともに直江津地域の賑わいを創出するため、直江津地域で活動する市民団体や商店組合のほか、市内で活動している団体等が実施する取組と連携・連動を図る。
- (2) 内容:
 - ・令和3年4月13日(火)に設立された「直江津まちなか回遊促進プロジェクト(実行委員長:白石雅孝頸城自動車㈱代表取締役副社長)」と連携しながら、来訪者の回遊を促す仕掛けづくりを行う。
 - ・町内会やまちづくりに取り組む市民団体、学校に対して、会期中に連携・連動して実施する取り組みについて働きかけを行う。

2. 作品制作等への参加について

- (1) 目的: 作品制作などに地域住民を始めとする市民が関わりながら現代アートを通じて直江津の魅力を再発見する機会とするとともに、地域と作家をつなぎ、本事業の広がりを図る。
- (2) 募集内容(予定)

区分	作家又は会場	内容	募集規模
制作	渡辺英司	図鑑等に掲載されている植物や魚などの画像約2万枚を切り抜いたものを、直江津屋台会館のホールに並べ、植物の海原を創りだす。切り抜いた画像の設置を作家とともに行う。	2、3人/半日
	渡辺英司	既存のリヤカーをカスタマイズした簡易な屋台を制作し、直江津のまちに繰り出すミニ屋台と見立てて、会期中にまちなかに展示・活用していく作品。 活用方法を自由に創造しながら、市民の皆さんが中心になって、制作、デザイン、塗装を行う。	6台～ (人数問わず)

区分	作家又は会場	内容	募集規模
制作	松岡 亮	会期前及び会期中において、作家が自ら刺繍とパッチワークをした1点ものの半袖開襟シャツ50枚を地域の方に着てもらい、街の風景として普段の生活を過ごしてもらおう作品。会期前に可能な限りで集合写真を撮影し、会場に展示。 9月上中旬にシャツを全て作家に返却し、直江津にて作家が滞在制作しながら大きな1枚の布に仕上げ、展示する。	50人 ※紳士もののシャツ。 サイズは、XL, L, M, S で、年齢男女問わず着用可能。
運営	各会場	会期中、各会場に設置している展示作品の状態を維持するため、定期的な清掃や作品管理の支援・協力を行う。	調整中
	船見公園周辺会場	会期前及び会期中、船見公園海岸部の環境整備として、定期的な清掃活動を行う。	調整中

(3) 募集方法

- ・作品の制作スケジュールが作家によって異なるため、制作の進捗状況に合わせて、作家と調整を図り、随時、募集や協力依頼を行う。
- ・募集については、団体や学校へ依頼するほか、ホームページやSNS等により行う。

3. 協賛金の募集について

- (1) 目的：なおえつ うみまちアートの趣旨に賛同し、作品制作や運営に係る資金として、協賛金を募集する。
- (2) 対象：市内企業、個人など
- (3) 募集方法：募集チラシとともに申込書を作成し、町内会や各団体、事業者等協力依頼を行う。
- (4) その他：
 - ・協賛に対しては、実行委員会が発行するリーフレットやHP等において企業名等を掲載する。
 - ・記念品の配布などの特典について、今後検討する。